

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
堀江 孝至
村山 正博

〈編集委員〉

相澤 久道
和泉 徹
小川 聡
永井 良三
平山 篤志
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔

(五十音順)

私が属する北里大学病院救命救急センターには年間約500名の心肺蘇生患者が押し寄せる。驚いたことには、今日ではその6%、30人が独歩退院していく。15年前、私が赴任した当時、状況は大いに違った。独歩退院は例外的な患者であった。95%の患者は助からなかった。否、助けようがなかった。生存出来た人達もハッピーではなかった。植物状態であったり、あるいは家庭生活もままならない生活を強いられたりする人達もいた。この素晴らしい結果をもたらした活動はここ10年間で急速に進歩した。シカゴのオヘア空港やラスベガスのカジノに設置された自動体外式除細動器(AED)が市民によって使用され、高い救命率を示したとNew England Journal of Medicine誌343:1206-1209, 2000が報じた。これを契機に一般市民によるAED使用が広まり、2004年には日本でも認められた。さらに、日本循環器学会の積極的な活動も加わり、特殊な器具や医薬品を用いずに行う心肺蘇生法(Basic Life Support: BLS)の普及に勢いがでた。今回、これら活動の中心的役割を常に果たしてこられた東京都済生会中央病院心臓病臨床研究センター三田村秀雄先生にAEDを検証する特集を企画していただいた。AEDの設置状況、使用実績、活用方法、心臓リハビリテーション、救命救急講習、AEDの機器特性など数多くの立場から検証が進められている。

もともと日本人は検証することが下手である。インサイダーで検証することにも必要であれば、アウトサイダーに検証を委ねることも必要である。インサイダーは手心を加えがちである。またアウトサイダーは手厳しい。医療の中ではしばしば経験する。しかし、何であれ、新たな活動は常に検証される必要がある。検証を経て体系化し、さらなる高次の活動へと結びつける。そして体系化するにはエビデンスが不可欠であり、強い意匠と熱意を必要とする。今回のAED検証は、私が冒頭で述べたように、痛い経験に裏打ちされている。検証の結果を活かし、正の連鎖を重ね、長寿社会をより豊かなものにしてもらいたいものである。

(和泉 徹)

呼吸と循環(第58巻 第11号)

2010年11月15日発行(毎月1回15日発行)

定価2,730円(本体2,600円+税5%)

2010年、年ぎめ予約購読料31,800円
(電子ジャーナル閲覧オプション付41,400円)
(税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 樋川・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCOPY 〈樹出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版社著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。